

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和6年2月8日

事業所名:児童多機能型事業所そらのいろ

サービス種類:児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	個別療育と集団療育を同時に行えるスペースを確保しているが、集団療育利用者が増加しており、日によっては狭くなることもある。屋外は駐車場を遊び場として使用している。	はい:16 どちらともいえない:4 いいえ:1 わからない:0	集団療育では必要に応じて公園や公共施設等も使用し、スペースを確保できるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	基本的な人員配置は満たしている。	はい:13 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:5	今後も利用人数に応じて適切な人員を配置できるように取り組んでいく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内に段差はなく、玄関手前にスロープを配置している。また、ホワイトボードを設置しスケジュールを把握しやすくしている。	はい:18 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2	今後も利用児の特性に応じた環境設備を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	手洗いの指導をしている。生活空間に関しては、個別療育室を増設し、個別療育と集団療育を同時に行えるスペースを確保している。	はい:18 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	今後も清潔保持に努めていく。生活空間の確保に関しては、利用児の状態に応じて環境を設定できるようにしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	利用者の状態や対応時の注意点等を、随時職員間で報告・共有している。		今後も、利用児の状態や目標の変化に対応できるように、定期的なカンファレンス等を実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		今後検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	一般の研修会や自立支援協議会(こども連絡会)主催の研修会に参加し、職員に情報を伝達している。		今後も継続して研修会等に参加し、さらなる知識・技術の向上に努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	療育の際に常時アセスメントを実施している。また、必要に応じて保護者に対して事業所内相談支援を実施し、現状の把握および目標の共有に努めている。その内容を計画書に反映して作成している。	はい:18 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:1	日々の利用時間内に利用児・保護者との意見交換の確保が難しい場合や、利用者の目標達成が難しい場合は、積極的に事業所内相談支援を実施できるように努めていき、利用児・保護者と目標を共有した上で支援していく。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	基本的に個別支援と集団支援を組み合わせた内容で計画書を作成している。		今後も利用者本人や保護者の意思に寄り添った内容を計画書に反映するようにしていく。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	本人・保護者に対して適宜モニタリングを実施した上で、支援の内容を具体的に記載するように心がけている。		今後も本人・保護者の意向を踏まえた上で、具体的な支援内容を計画書に記載するように努めていく。	
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	随時計画書を職員が確認し、計画に沿った形で支援できるように努めている。	はい:17 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:2	必要に応じて本人・保護者・相談支援専門員等と意見交換を行い、計画内容が意向に沿っているか確認した上で支援するように努めていく。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	利用児の状態をアセスメントした上で、様々な専門職の意見を出し合ってカンファレンスを実施し、プログラムの立案に努めている。		今後も、職員の専門性を高めていながら、利用児の変化に応じて楽しく積極的に活動できるようにプログラムを立案していく。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は午前中に児童発達支援、午後に放課後等デイサービスを実施しているが、長期休暇は放課後等デイサービスを午前中から利用できるようにサービス提供時間を調整している。 また、長期休暇中はできる限り様々な活動が行えるように一日のスケジュールを立てている。		はい:18 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	今後も利用時間に応じて必要な支援をしていけるように努めていく。また、長期休暇中は平日に実施できないことも取り組めるように努めていく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用児のしたい活動を確認しながら、毎回同じ活動にならないように、季節の行事も取り入れながら活動プログラムを計画している。		今後も、利用児の希望を確認し、日々の変化を十分にアセスメントしながらプログラムを立案していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼の際に、職員同士で当日の役割分担・利用時間・支援内容を確認している。また、短時間勤務の職員に対しては、出勤後に朝礼の内容を把握できるように環境を整えている。	支援内容は利用児の状態を踏まえた上で、臨機応変に対応できるように努めていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	利用児の対応について職員間で共有すべき情報は、その日のうちに伝達および記録するようにしている。	今後も情報の伝達が上手く行われるように、職員同士十分にコミュニケーションをとっていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録は全ての職員が支援後に実施している。支援の検証・改善については利用児がいない時間帯に会議を実施している。	今後も、日々の記録を職員間で出来る限り分担して行うようにしていく。また、支援の検証・改善の会議の時間も継続して確保できるように努めていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	随時モニタリングを実施し、計画書を見直している。	利用児・保護者のニーズを踏まえや上で、利用児の状態に応じた計画書を作成できるように努めていく。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者や専門職がサービス担当者会議に参加している。	引き続き会議に参加していき、必要な情報を提供できるように努めていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通じて保育所等での困り事を確認し、必要によっては保育所等訪問支援を実施し、連携および情報共有に努めている。保育所等訪問支援の依頼件数は依然として少ない状態である。	今後も保護者・相談支援専門員・保育所等と連携を図り、利用児が保育所から小学校へスムーズに移行できるように努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて支援内容等を提供する体制は整えているが、現時点ではそのような対象者がいない状況である。		今後、利用者が円滑に就労等に繋がっていくように情報提供を実施していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修には可能な範囲で参加している。		今後も継続して参加できるように努めていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	長期休暇等サービス利用時間が長い時には、地域の公園や図書館に行き、地域の子どもたちがいる場で一緒に活動している。	はい:4 どちらともいえない:1 いいえ:4 わからない:11	今後は保護者の同意を得た上で、長期休暇等に地域のイベントや自立支援協議会のイベントへの参加を検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の利用児に対しては、地域の人形劇団・ボランティア団体・市役所職員等に依頼し、人形劇・南京玉すだれ・交通安全教室・防災教室等を開催した。しかし、地域住民の招待は行っていない。		まずは利用児とご家族と一緒に参加できる行事を開催できるように計画していく。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担等の文書を作成し、契約時に保護者に説明を行っている。	はい:20 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	今後も、利用者負担等の変更がある場合や保護者からの問い合わせに対しては、丁寧に説明をするように努めていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を口頭で説明し、保護者からの同意を得た後書面をお渡ししている。	はい:16 どちらともいえない:2 いいえ:2 わからない:1	口頭での説明が不十分で保護者に十分な理解を得ることができていない可能性があるため、今後も保護者に丁寧に説明していくように努めていく。また、保護者から不満等がある場合に、職員に言いやすい環境づくりを心がけていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現時点ではペアレントトレーニングは実施できていないが、事業所内相談支援は必要に応じて実施している。	はい:10 どちらともいえない:2 いいえ:5 わからない:2	今後、ペアレントトレーニングが必要な場合にスムーズに開催できるように、職員で勉強会等を実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育の場合は、保護者と現状や課題について共有する時間を設けるように努めている。 集団療育の場合は、送迎時や電話で日々の状態や自宅での様子等を意見交換するように努めている。	はい:18 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:1	今後も必要に応じて、意見交換のために十分な時間を設けられるように調整していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に対しては、適切な助言ができるように努めており、必要に応じて事業所内相談支援を行っている。しかしながら、相談体制が十分確保できていないこともある。	はい:13 どちらともいえない:3 いいえ:3 わからない:2	今後も、利用児の家庭での様子を十分に把握できるように保護者との関係をより一層深めていき、相談しやすい環境づくりを心がけていく。また、必要な場合には相談支援の時間を確保できるように努めていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	当事業所の行事に、保護者や兄弟等にも参加していただき、その中で保護者同士の集まりの場を提供できればと考えていたが、現時点では父母の会や保護者会を実施できていない。	はい:2 どちらともいえない:0 いいえ:8 わからない:11	保護者の意向を踏まえた上で、保護者が快く参加できる会を計画していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口について説明している。また、苦情や相談を受けた場合は、迅速に対応できるように心掛けている。	はい:11 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:8	苦情や相談を職員で情報および対応策を共有し、できる限り未然に防げるように対応していく。また、苦情体制について、必要な場合には保護者に改めて周知していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用児の特性に配慮した環境整備や職員配置を行っている。また、保護者の就労等で対面での情報伝達が難しい場合は、電話等で対応している。	はい:18 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2	今後も専門的な知識を高めていき、利用児および保護者との意思の疎通や情報伝達がより良く行えるようにしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回会報を配布している。また、定期的にブログを更新している。	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も会報の配布やブログの更新を継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	外部へ情報を提供する場合、必ず本人・保護者と提供する情報内容を確認し、同意を得て提供している。その他、個人情報が流出しないようにシュレッダー処理や鍵付き書庫保管等で対応している。	はい:18 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	引き続き個人情報の取り扱いに十分注意していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時等の対応マニュアルを策定し、職員が常に確認できるように保管し、必要な内容を保護者へ周知している。	はい:11 どちらともいえない:1 いいえ:2 わからない:7	今後、厚生労働省や兵庫県からの情報を受け取り、その内容を常時対応マニュアルに反映できるようにしていく。また、内容も適宜不備等がないか確認していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を実施しているが、全ての利用児に対して実施できていないこともある。	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:10	避難訓練を実施したことについて、保護者に十分周知していく。また、できる限り全ての利用児に対して実施できるように努めていくが、実施が難しい利用児に対しては保護者に説明等を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待および身体拘束防止マニュアルを作成している。また、研修にも積極的に参加し、研修内容を職員に周知している。		適宜職員研修を実施し、適切な対応ができるようにしていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現時点では身体拘束を行うケースはないが、身体拘束マニュアルに基づき対応するようにしている。		今後も、必要な場合は身体拘束マニュアルに基づき、保護者の十分な理解と同意を得たうえで適切に対応していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーに関しては、契約時に保護者に確認し、おやつ等の提供やクッキングの際に配慮している。		食物アレルギーの変更がある場合は保護者と情報共有できるようにしていく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事案が発生した場合はレポートを作成し、職員間で共有している。		引き続き、ヒヤリハットが発生した場合は、レポート作成および職員間での情報共有を徹底していく。